

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

訓練科名(コース名)	鉄筋工事業実践科(鉄筋組立作業コース)	Off-JTの実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	
	習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	160
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	180
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立	180
		OJT計		340時間
	座学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念	12
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳(絵符)、鉄筋組立作業の手順	6
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10
		学科計		34時間
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7	
	作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4	
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	10	
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習(玉掛け等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30	
実技計		51時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計		85時間		
有期実習型訓練合計		425時間		
主な設備機器	鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、ガス圧接機、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工用工具類、溶接用工具類、計測器類			

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事業実践科(鉄筋組立作業コース)	Off-JTの実施主体	備考	
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	
	習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	160
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓、 作業段取り	160
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、鉄筋組立、 態度、整頓	240
		OJT計		400時間
	座学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、 安全衛生	26
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳(絵符)、鉄筋組立作業の手順	4
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10
		学科計		40時間
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7	
	作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4	
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	23	
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習(玉掛け等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30	
実技計		60時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計		100時間		
有期実習型訓練合計		500時間		
主な設備機器	鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、ガス圧接機、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工用工具類、溶接用工具類、計測器類			

※500時間(OJT:400時間、Off-JT:100時間) 8時間/日 → 約63日

【Off-JT実施パターンの例】

9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	18:00
例1)	学科:2時間			実技:2時間	
9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
例2)	学科および実技:3時間		学科および実技:5時間		

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事業実践科(鉄筋組立作業コース)	時間	
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	
	実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立
		OJT計	
	座学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、経営理念、鉄筋組立作業の基本知識
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理
		能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)
		学科計	
		25時間	
実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、救急処理、安全防具の正しい着用方法	
	作業管理基本実習	鉄筋材料の識別と分別保管の方法、運搬、整理整頓	
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	
	実技計		
18時間			
Off-JT(教育訓練機関)小計			
43時間			
有期実習型訓練合計			
215時間			
主な設備機器	工用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、バイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、携帯用電気丸のこ、携帯用電気かんな、電気ドリル、電気ハンマ、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工用工具類、溶接用工具類、計測器類		

※215時間(OJT:172時間、Off-JT:43時間) 8時間/日 → 約27日

補足

- ※助成金受給の条件
- ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
 - ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割~2割の範囲

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】学卒者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事業実践科(鉄筋組立作業コース)	時間	
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	
	実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持
		鉄筋組立準備作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
		鉄筋材料分別保管作業(作業段取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
		荷受作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業
		運搬作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業による場内運搬作業
		鉄筋組立作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の理解
		OJT計	
		768時間	
	座学等(Off-JT)	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、経営理念
安全衛生		5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理	
作業段取り概論(組立基礎知識)		鉄筋組立作業にかかわる用語、材料・器具・工具・機械等の名称と用途、荷受作業の手順、場内運搬作業の手順、配筋図の見方	
施工概論		現場規則の遵守、新規入場者教育および送出し教育の遵守、企業の諸規定の遵守、挨拶の励行、報告・相談・連絡の重要性	
鉄筋加工作業概論		作業段取りの工夫と作業効率の重要性、法令および諸規定の概要	
能力評価		オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	
学科計			
104時間			
実技		安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、救急処理、安全防具の正しい着用方法
		鉄筋組立準備作業	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の数量確認と準備の要領の確認
	鉄筋組立作業	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、あいばん作業の要領、器具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要領、荷受作業の要領、場内運搬作業の手順の要領	
	実技計		
88時間			
Off-JT(教育訓練機関)小計			
192時間			
有期実習型訓練合計			
960時間			
主な設備機器	工用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、バイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、携帯用電気丸のこ、携帯用電気かんな、電気ドリル、電気ハンマ、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工用工具類、溶接用工具類、計測器類		

※960時間(OJT:768時間、Off-JT:192時間) 8時間/日 → 約120日